

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 獣医保健看護学科

職階 准教授

氏名 今井彩子

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
2. 教育の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
3. 教育の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組・・・・ 毎年
6. 学生の学修成果向上を図る取組・・・・・・・・・・ 毎年
7. 指導力向上のための取組・・・・・・・・・・ 3年
8. 今後の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

全世界的に人間と動物の共生が課題となっている現在、医療面を含めた人間と動物の幸せに貢献できる人材のニーズが高まっている。そのために獣医保健看護学科の教員として、獣医学の知識を持ち、それを活かして社会参加・貢献できる人材の育成を行うことが責務であると考えている。

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
キャリアデザイン基礎	獣医保健看護学科	必修	1	78
動物看護学概論	獣医保健看護学科	必修	1	78
ジェネラリスト養成プログラム			1	4

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

獣医学の知識を持ち、それを活かして人と動物の共生のために社会参加・貢献できるプロフェSSIONALな人材はまず、(1) 人として自立し自らの行動に責任を持つことができないといけない。そして、(2) 受けた教育を社会に対して単に伝えるのではなく、具体的な形で示し、説明できることが大切であると考えている。したがって、学生に対しては自立した人間としての立場を尊重して接することを心がけると共に、授業に関しては、現象や事実を伝えるだけではなく、「なぜそうなるのか?」、「なぜそうしなければならないのか?」などの「なぜ?」を紐解くことを大切に、学生が教えられたことを鵜呑みにするのではなく、根本から考えて理解できるような教育活動を行う。そのような取り組みにより、学生が社会に出る第一歩である愛玩動物看護師国家試験合格を目指す。

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 学生の自立という点においては、日々の対人マナー（約束や時間を守るなど）はもちろんのこと、1年次動物看護学概論中に行われる大学外部の方とのメール交換の指導を通して対人及びビジネスマナーを指導する。また、将来愛玩動物看護師として動物病院での就職を目指す者たちにとっては、特に病院内外での対人コミュニケーションが重要であるため、担当科目中の業務（例えば、内科で血圧測定など）を行う上で発生する対人及び対動物とのコミュニケーションについてもその都度言及し、コミュニケーションの大切さの理解を図る。また、獣医学を学んだ人材の社会参加へのニーズが高いことを実感し、早期に自立したライフプランの設計を促すために、1年次より大学主催の企業説明会などへの参加を図るとともに、担当科目においてもできるだけ多様な職業での応用に言及する。

(2) 愛玩動物看護師国家試験だけを考えれば暗記科目が多いことからその内容の習得にはドリル的な反復が効果的ではあると思うが、実際に社会参加して学んできた内容を活かして社会に貢献するにはその暗記項目がなぜ試験問題として出されるほど重要なものであるかを理解する必要があると思われる。その理解を促すためには、理論から実践へ、もしくは基礎から臨床へのつながりを教えることが重要である。そのために授業では暗記すべき項目（国試対策）に紐付ける形で理論等を配置して教えていく。臨床教科項目は特に現場との関連がイメージしづらいものも多いので、できるだけ写真や動画を使用した教材を用いて授業を行う。また実習では、動物を使用することが難しい場面も多いが、シュミレーターの使用や自身の経験（例えば聴診器で自身の心拍数を測るなど）を通して、理論を実践として理解できるように指導する。

（1）アクティブ・ラーニングについての取組

有

動物看護学概論における学生がグループワークとして学外の様々な職種で働く愛玩動物看護師資格保有者にインタビューをし、グループディスカッションの後にポスター発表を行った。また、ジェネプロでは論文発表の都度、グループディスカッションを行っている。

（2）ICTの教育活用

有

AzamoodleやLMSの活用

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

A

図写真や動画を多く取り入れたスライドを用いて学生の記憶に残るように工夫した

(2) 学生の理解度の把握

A

授業中に指示したことを反映させるレポートの提出を課題とした。ジェネプロにおいては学生と一緒にグループディスカッションを行った。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

A

ジェネプロにおいて、終了時までの到達目標を示し、そこに到達するまでのタイムスケジュールを示した。

(4) 学生とのコミュニケーション

A

ジェネプロではグループチャットを設定し、常に質問に答えることができるようにしている

(5) 双方向授業への工夫

A

ジェネプロでは常に学生一人一人とディスカッションをし、双方向の意見のやり取りをしている

5. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

(1) 現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組

2025年度は専門授業の担当となるので、国家試験を意識した繰り返しのドリル的な取り組みと、その理解を図る記述式の復習を予定している

(2) (1) の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

①の取り組みの結果は国家試験の合格率に反映され则认为している

6. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

参加している

7. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

短期目標：進級率100%

長期目標：愛玩動物看護師国家試験100%合格及び就職内定率100%

8. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年2月

シラバス、教材、レポート課題、ジェネプロHP、学生とのメール添削データ、学生ポスター、ジェネプロ課題ディスカッションデータ